

ふれあ

倉敷市民間保育所協議会の皆様におかれましては、平素より、本市の保育行政に多大なご尽力とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、このたび本市に甚大な被害をもたらした平成三十年七月豪雨災害におきましては、真備地区の認可保育所が二園、小規模保育事業所が二園、事業所内保育事業所が一園の計五園すべてが被災により園運営ができなくなつてしまいました。市内各園の皆様は緊急的な代替保育や一時預かりにご協力いただいた結果、被災園の園児たちをお預かりすることができました。現在、被災したそれぞれの園は再開を果たしていますが、真備地区の復興元年として、今後もしっかりと復興に向けた取り組みを進めてまいります。

さて、市長就任以来、「子育てするなら倉敷で」と言われるまち」の実現に向けて、



変わりゆく保育環境に対する取り組みについて

倉敷市長 伊東 香織

安心して結婚・出産ができ、子どもを持つ世代が仕事と子育てを両立することができる環境の整備に、一貫して取り組んでいるところであります。一方で、本市の待機児童の状況につきましては、平成三〇年四月一日時点において百二十五人と、前年度と比較すると六十一人の減少となりましたが、依然として、百人を超える状況にあります。これまでも、皆様方のご協力をいただき、保育園の新設・増改築による定員増に加え、「小規模保育事業」や「事業所内保育事業」による保育サービスの実施により、平成二十年度以降では千五百人以上の定員増を行うとともに、幼稚園における預かり保育の実施など、待機児童の解消に努めてまいりました。平成三十一年四月には、さらに百四十人を超える定員増（受け皿の確保）を見込んでいますが、今後も、引き続き保育ニーズに対応した保育所等の整備や地域型保育・企業主導型保育など多様な保育の実施により、待機児童の解消に努めてまいります。

他方で、全国的に保育士が不足しており、その確保が非常に困難な状況にあります。本市においては、平成二十七年に「保育士・保育所支援センター」を開設し、保育実習体験研修会による復職支援や交流研修会による離職防止対策をはじめ、保育士に寄り添った支援を行うことで保育士の確保に努めてまいりました。

また、国の制度を活用して、保育士の賃金改善や業務負担の軽減を行うとともに、就労継続を目的として、宿舍借り上げにかかる経費を助成するなど、今後も保育士の方が働きやすい環境の更なる向上を図ってまいります。

ところで、本年十月に施行される「幼児教育・保育の無償化」により、子育て世代の負担軽減を図ることは、本市においても少子化対策に寄与するものと考えられておりますが、同時に、財政負担の増加や保育需要の急激な高まりなどが懸念されるため、地方自治体に負担を発生させることがないよう、国の責任において着実に推進していただくことが必要であると考えております。

このような状況において、国に対し、昨年五月に





ちまた

今年の五月に新天皇さまが御座位され、元号が変わる事となります。保育業界も保育料の無償化が進み、新保育所保育指針の発表にともない、保育内容の見直しに動き出した事と聞かれます。

近年においては、家族構成も核家族化が進み、両親以外の大人と接する機会が減り、以前は自然にできていた人間形成に必要な経験や躾の場が無くなりつつあります。このことを踏まえ、新保育所保育指針に沿った保育士の接し方、子どもが自ら考え、子ども同士で話し合う環境づくり、年齢や園児の発達により日々の遊びや活動に発達別の選択肢を設け、子どもが主体的に選べるものを考えています。子どもが自ら進んで選ぶことで、自己肯定感も育み、次のステージ（人間形成）に進んでいけると思っています。さらに、保育士はチームで保育を行い、複数の目と日常の躾を展開していきたいと考えています。

絵本を寄贈して下さっている 内田隆志先生

【プロフィール】

中学校を定年退職後、3年間明誠学院高校に勤務。現在は「被災地復興支援団体：明日への架け橋 KURASHIKI」の会員として、各種イベントやボランティアに参加され、「かけがえのない命と日常の大切さ」をテーマにコンサート活動をされています。お孫さんの誕生日に手作り絵本を贈ったことをきっかけに絵本などの製作活動をはじめられました。倉敷市内をはじめ宮城県南三陸町、石巻市の保育園・幼稚園他に自費出版した絵本を寄贈なさっています。



第11弾新作できました!



夢中になって読んでいます



▲挿絵は現役保育士の川本さん(左)が描かれています

次々に出てくる動物に声をかけたり、くまへいさんの行動にうなずいたりしていました。「おしやさんはすごいね」「たいへんだね」「やさしいね」と口々に言っていました。

子どもたちはクマのお医者さんのお話に見入っていました。



ドクターくまへい
心あふまるお話にほのぼのとした絵で子どもたちの心はぽかぽかになっています。これからも素敵な話を子どもたちに届けて下さい。

子どもたちは頂いたおもちゃでこんな風に遊んでいます



あたたかい心のこもった 絵本や木のおもちゃを いつもありがとうございます

寄贈された園からたくさんの感謝の声が届いています

体がすっぽり入る大ききで、子どもたちが喜んで乗っています。お友達を乗せて引っ張ることもはきをつけています。とても頑丈で、4年前に頂きましたが、調子良く走っています。木の風合いが増し、いい味が出てきました。



2歳児の子どもたちは「お馬まんパッカパッカ」と言いながら大喜びで遊び、順番を待つ子どもと一緒に体をゆらしながら数を数えています。木馬のくまちゃんもこれからは保育園の子どもたちの成長を見守ってくれることと思います。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

- 今年の受取園は、
- ・ひまわり乳児保育園
- ・浦田保育園
- ・琴浦中保育園
- ・真備かなりや保育園
- ・上成保育園

の5園です。平成17年度から今年で14回目を迎え、通算70台のおもちゃを寄贈していただきました。



水のおもちゃを寄贈して下さい 別所皓二さん

【プロフィール】

サラリーマンを退職後、物作りが好きだったため専門学校で木工を学ばれたそうです。自分で作ったものを誰かに使ってほしいという思いが強く、保育園の可愛い子どもたちに使ってもらえたら嬉しいということで、平成17年から倉敷市内の民間保育園に寄贈をはじめられました。栗や杉の木、タモの木の無垢材を使用し、木の色を大切にしたいので着色はしないそうです。木の温かみや使えば使うほど味が出てくる木材の手作り玩具で遊んで元氣になってほしいとのこと。全園に届けられることを心の張りにしてこれからも頑張って製作したいとおっしゃっています。

一つの玩具の完成に約1ヶ月かかります。子どもたちが楽しく遊んでいる姿を思いうかべて作っています。



小学校への
入学前に

家庭で経験させたい10の大切な視点



生活する力

①時間を意識して、規則正しい生活を!

起きる時間・寝る時間・食事・排泄・登園など一日の生活の流れを知り、時間を意識して生活することが必要です。子ども自身も文字や数字、時計などへの関心が高まります。



早寝・早起き
・朝ごはん

家庭での
Point

②安全に気をつけて行動する

小学校入学に向けて、登下校時の交通ルールを意識することが必要です。自立した生活の中で危険な行為を避けて安全に生活し、自分を守ることを身につけることが大切になってきます。

家庭での
Point

通学路を
歩いてみよう!

③食べることを楽しもう

家庭でその日の出来事などを話しながら食事を楽しみましょう。また、季節と食材に関する絵本や知識に触れることで食への関心が高まります。思考力や判断力も高まり、心身ともに大きく成長する時期です。

家庭での
Point

毎日、短い時間の
関わりを
大切にしよう!



④体を動かす楽しさを!

家庭で公園などに出かけ、一緒に体を動かして遊びましょう。いろいろな動きを経験し体を動かす楽しさを味わうことが大切です。

家庭での
Point

外へ出よう!

人とかかわる力

⑤受け入れること・伝えること

友達と共通の目的に向かって、考えを出し合いながら遊ぶ楽しさを感じる時期です。自分の気持ちを相手に分かるように伝えること、相手の気持ちを聞いて自分と違うことを知り、それを受け入れたりする経験が大事です。

家庭での
Point

子どもの話は
じっくり聞いて
あげよう!



⑥ほめることで自信を!

簡単な手伝いを頼み、できた時に「ありがとう」「助かったよ」と気持ちを伝えてほめることが大切です。子ども自身が役に立っていると実感し自信となっていきます。

家庭での
Point

まずはできることから

⑦決まりや約束を守る

集団生活ではマナーやルールを守ることが大切です。「良いこと・悪いこと」を子どもにはっきりと伝えましょう。また、「時間を守る」「他人に迷惑をかけない」などのルールを教えることも大切です。

家庭での
Point

親子で守ろう!



学ぶ力

⑧自然に触れさせよう!

興味あるものにじっくりと取り組めるように、せかさず共感することで、意欲や好奇心、探求心が育ちます。自然体験は、子どもの心や感性を育て「生きる力」の基盤になります。



子どもの発見に
目を傾けよう!

家庭での
Point

⑨絵本の読み聞かせを!

日常生活の中で文字や記号、数などに触れる機会を持つようにしましょう。文字が読めるようになってからも、絵本の読み聞かせを続けることが成長に欠かせません。



家庭での
Point

寝る前の一冊を!

⑩自分で考えて行動する力を!

興味や関心を持ったものに集中して取り組む時期です。試行錯誤を重ね友達と刺激し合いながら取り組むことは小学校生活での学習意欲・態度の基礎力につながります。

家庭での
Point

子どもが考え、
行動できるように
見守る余裕が大切



家庭での生活をチェックしてみましょう!

生活する力	① 早寝早起きをして、朝ごはんを食べていますか?	
	② 交通ルールを知り、安全に行動できていますか?	
	③ 家族と一緒に楽しく食事をしていますか?	
	④ 家族と一緒に体を動かす遊びをしていますか?	
人とかかわる力	⑤ 家族以外の人にも自分の思いや考えを伝えることができていますか?	
	友だちの気持ちを理解して行動できていますか?	
学ぶ力	⑥ 褒められたり認められたりすることで自信を持って行動できていますか?	
	⑦ マナーやルールを守っていますか?	
	⑧ 身近な自然と触れ合っていますか?	
	⑨ 絵本や、物語に関心を持っていますか?	
	⑩ 興味や関心を持ったものに集中して取り組んでいますか?	

新しい保育所保育指針の中で、これからの幼児教育が目指す子どもの育ちとして「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」10の項目が示されています。「10の姿」を就学までに育てていくことが小学校以降の豊かな学びにつながっていきます。



保護者
の方へ

- 家庭教育は、基本的な生活習慣・生活能力・他人への思いやりや善悪の判断など、子どもの生きる力を育てる教育の出発点です。気になっていることから、あるいは、少し頑張ればできそうなことから始めてみてください。きっと、お子さんの生き生きとした姿や新たにお子さんの良さに気づくことができると思います。

小学校(学習)での大切な3つの柱の基礎になります!

豊かな経験をたくさんすることで「資質・能力」は乳児期から幼児期を経て小学校以降へ伸びていきます

1 知識及び技能の基礎

2 思考力、判断力、表現力

3 人間性、学びに向かう力